坂ろうだより

第４号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和８年７月１日

埼玉県議会見学（高等部）　６月２２日（月）

６月２２日、高等部全員で県議会見学に行ってきました。この行事は、井上航様（県議員）、金野桃子様（県議員）、佐藤太信様（戸田市議員）のお取り計らいにより実現したものです。午前中は井上様と金野様の案内で県議会の概要や歴史、図書室を見学し、昼食後は１０分間県議員の方々５名と意見交換会を行いました。午後は１時間半傍聴しましたが、坂戸ろう学園を取り巻く課題について取り上げていただき、答弁者の方々も手話をつけて発言していただいたことに生徒みんな感激していました。最後に、大野知事が挨拶に来ていただき、集合写真撮影時はデフリンピックの手話を一緒にしてくれました。県議会での情報保障体制を含め、県議会での議論を通してより良い社会を作り上げているということを知ることができた一日でした。

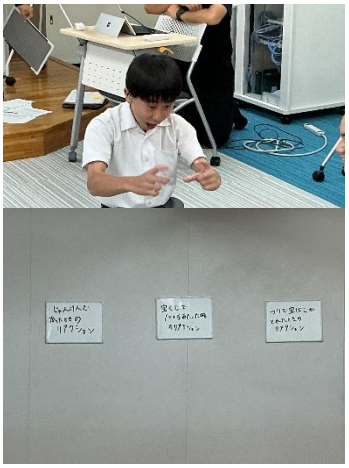
梅雨の晴れ間に輝く笑顔（幼稚部）

梅雨の合間にのぞく青空の下、園庭には子どもたちのはじける笑顔と手話が飛び交っています。築山を元気いっぱいに駆け登ったり、遊具に挑戦したりする姿は、まるで太陽の光を全身で受け止めているようです。最近は学年を越えた交流も盛んで、年上の子が年下の子の手を優しく引きながら遊ぶ姿も見られます。互いに思いやりをもって関わり合う中で、子どもたちは「できた！」という喜びを分かち合い、ありのままの自分を表現する力を伸ばしています。雨の日には室内での遊びや活動を通して、友だちとの関わりを深める姿も見られます。晴れの日も雨の日も、それぞれの時間の中で子どもたちは新しい発見を重ね、心も体もぐんぐん成長しています。季節の移ろいとともに、子どもたちの笑顔がますます輝いていくのを感じます。

坂小まつり（小学部）　６月１７日（水）

６月１７日（水）、坂戸市立坂戸小学校で開催された「坂小まつり」に、小学部の児童１６名が参加しました。 開会式では、本校の高学年児童がステージに立ち、「世界が一つになるまで」を手話歌で披露しました。坂戸小学校の児童も一緒に手話を交えて歌い、体育館いっぱいに温かい歌声と手話の動きが広がり、会場が一体となる素敵な時間となりました。開会式の後は、坂戸小学校の児童が工夫して準備したお店を巡りました。「宝探し」「おばけやしき」「もぐらたたき」など、どのお店も子どもたちのアイデアが詰まっており、本校の児童も楽しみながら活動することができました。活動を通して、地域の友達とどのように関わり、どのような方法で自分の思いを伝えていけばよいのかを振り返ることができ、児童にとって大変有意義な学びの時間となりました。温かく迎え入れてくださった坂戸小学校の皆さんに、心より感謝申し上げます。

坂戸中学校交流会（中学部）　６月１７日（水）



坂戸中学校の授業見学をしました。５教科の授業をはじめ総合の授業を２人１組になり自分たちが見てみたい授業を見学して回りました。

レクでは、坂戸中学校の福祉委員会の生徒さんたちと「表情・感情クイズ」と「誕生日の早い順に並ぶ」という２つのゲームを行いました。本校の生徒と坂戸中学校の生徒の表情の使い方が違うところもあり、間違って伝わってしまったりすることもありましたが楽しく盛り上がりました。また、誕生日については指で数字を出したり口話を使ったりして表現することができ、坂戸中学校の生徒と協力して並ぶことができました。

手話歌のビリーブでは、円になり坂戸中学校の見本となるように表現できていました。最後に集合写真を撮り解散となりました。

地域に手話を広めたい（～手話はもう一つの言語～）

校長　棚田　茂

梅雨の時節となり、雨や台風の影響で落ち着かない日々が続きました。そうした中、県議会議員による学校視察、学校公開、学校運営協議会と重要な行事が続きました。学校運営協議会では、生徒会が「みんなで学んで手話の魅力を知ろう」というテーマで発表し、委員の皆様から多くの助言をいただきました。聴者と手話で話したいという生徒の思いがしっかりと伝わり、手話は待っているだけでは広まらず、自ら使うことで社会に広がっていくという大切な気づきも得られました。また、委員より、校門などに手話の看板を掲示し、地域に向けてろう学校であることを発信する等の助言をいただきました。

さらに、6 月 22 日には高校生が埼玉県議会を見学し、一般質問の中で坂戸ろう学園のことが取り上げられました。議場では県幹部や県議員が手話を少し使う場面もあり、生徒たちは自分たちの学校が議会で語られる瞬間を目の当たりにして、大きな興奮と誇りを感じたことでしょう。議会を身近に感じる貴重な経験となりました。

加えて、7 月には地域の夏祭りにおいて、寄宿舎太鼓サークル「こばと会」が太鼓を披露します。地域の皆様と直接ふれあい、本校の存在や児童生徒の活躍を知っていただく大切な機会となります。

これからも地域とともに歩みながら、児童生徒の成長を支える教育活動を進めてまいります。